

薦と所属学部教授会の承認とを得たものを所長が委嘱する。兼任研究員の任期は、1年または2年とし、再任を妨げない。

- 3 学外研究員は、学外の研究者であって、研究所委員会が共同研究・調査に必要と認めた者を所長が委嘱する。学外研究員の任期は、1年または2年とし、再任を妨げない。

第10条 事務職員は、庶務、会計、編集、出版および資料の収集・整理・閲覧・管理等に関する事務を処理する。

第11条 本規程の改訂は、研究所委員会における全構成員の3分の2以上の賛成を経て所員総会に提案し、出席者の3分の2の賛成によって決定される。

付 則

この規程は、1975年（昭和50年）4月1日から施行する。

この規程は、1977年（昭和52年）4月1日から改訂施行する。

この規程は、1977年（昭和52年）11月18日から改訂施行する。

この規程は、1983年（昭和58年）4月1日から改訂施行する。

この規程は、1984年（昭和59年）4月1日から改訂施行する。

この規程は、1986年（昭和61年）4月1日から改訂施行する。

この規程は、1987年（昭和62年）11月20日から改訂施行する。

この規程は、1991年（平成3年）1月18日から改訂施行する。

この規程は、1993年（平成5年）4月1日から改訂施行する。

『桃山学院大学総合研究所紀要』 投稿規程

1. 本誌に投稿できる者は、本学所員とする。ただし、所員以外の投稿については、共同研究プロジェクトの参加者であって、所員の推薦があること。これらを研究所委員会で審査し投稿を受理することがある。
2. 原稿内容は、論文、研究ノート、翻訳、書誌、資料、書評、その他とする。
3. 原稿は、手書き・ワープロを問わず横書きを原則とする。原稿の分量は、論文および翻訳では、24,000字（欧文は12,000語）、その他では12,000字（欧文では6,000語）を一応の限度とする。この限度を超過するものについては分載することもある。
4. 論文には必ず500語程度の欧文抄録を添付するものとする。
5. 投稿者による校正は、三校までとする。